

# 小麦栽培情報 1月号

令和6年12月17日  
J A 柳 川  
南筑後普及指導センター

## 【小麦】

### 1 施肥

穂数の確保と穂の充実のため、追肥は**1月下旬頃**に実施します。施用時期が早くなると穂数が増え穂の充実が悪くなります。また、遅れると倒伏や成熟期の遅れを招きます。

(kg/10a)

品種名	前作	1月下旬		穂揃期
		麦追肥一発 1号	硬質小麦 専用追肥3004	硫安
シロガネコムギ	水稻	40	—	—
	<b>大豆</b>	<b>30</b>	—	—
ミナミノカオリ	水稻	—	40	10
	<b>大豆</b>	<b>—</b>	<b>30</b>	<b>10</b>

※ 穂揃期追肥を尿素の葉面散布で行う場合、**10a 当たり尿素 5 kg を水 100L**に溶かして散布します。ただし、高温時の散布や、尿素の濃度が高いと、葉焼けの程度が激しくなるため注意します。

### 2 麦踏み・土入れ

#### ●麦踏み

麦踏みは、分けつ促進や耐寒性の強化、倒伏防止等の効果があります。麦**3葉期**から**2月下旬頃の節間伸長前**までに**3～5回程度**実施します（生育に応じて晩限は前後します）。**ほ場が湿っていると、土壌を締めつけ、生育を抑制することがあるため、土壌が十分乾燥した状態で行います。**特に早播きしたほ場では、倒伏や凍霜害が発生しやすいため、麦踏みを徹底します。

#### ●土入れ

土入れは、倒伏防止や雑草の抑制、排水対策等の効果があり、追肥後に行うと肥効が安定します。**1月上中旬頃から3月上旬にかけて2～3回程度**実施し、小麦の生育に応じて土の量を増やします。土塊が大きくなるように、麦踏みと同様に土壌が乾燥した状態で行います。なお、できるだけ**麦踏み前**に実施し、麦が土に埋もれないようにします（麦踏み後に行う場合は生育が回復するまで待ちます）。

### 3 雑草防除

発生している雑草の草種に合わせた薬剤の選択が重要です。ほ場の雑草を確認し、こよみや下記を参考に薬剤を選定しましょう。また、薬害防止と除草効果安定のため、薬剤散布直前～散布後1週間以内の麦踏み・土入れは避けます。

既に、ハーモニー細粒剤Fを使用したほ場では、ハーモニーDFは使用できません。

薬剤名	適用雑草	使用時期	10a 当たり 使用量	備考
ハーモニーDF	スズメテッポウ、 一年生 広葉雑草	播種後～ 節間伸長前	5～10g (水 100L)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用回数：1回以内</li> <li>・ハーモニー細粒剤FとハーモニーDFは、いずれか1回しか使用できない</li> <li>・<u>タデ</u>類に効果が高い</li> </ul>
	一年生 広葉雑草	節間伸長開始期～ 穂ばらみ期 (収穫45日前まで)	3～10g (水 100L)	
エコパート フロアブル	一年生 広葉雑草	節間伸長開始期まで (広葉雑草：2～4葉期) (ヤムガラ：2～6節期) (収穫45日前まで)	50～100mL (水 100L)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用回数：2回以内</li> <li>・<u>ヤムガラ</u>に効果が高い</li> <li>・カラスノエンドウへの効果は劣る</li> </ul>
バサグラン 液剤	一年生 広葉雑草	小麦の生育期 (収穫45日前まで)	100～200mL (水 100L)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用回数：1回以内</li> <li>・<u>キンポウゲ</u>類に効果が高い</li> <li>・高温、晴天時に効果が高い</li> </ul>



〈ミチヤナギ〉



〈カラスノエンドウ〉



〈キンポウゲ類(トゲミキネノボタン)〉

#### ・農薬使用上の注意

- 1 散布前に必ず農薬ラベル（①適用作物、②使用量や希釈倍数、③使用時期や総使用回数、④有効期限）を確認！
- 2 散布時には近隣作物や住宅街への飛散防止対策を徹底！
- 3 散布後は必ず散布器具（タンク、ホース等）を洗浄！
- 4 防除履歴の正確な記帳！